

学校だより 3月号 じのしま

令和5年3月1日
宗像市立地島小学校
校長 秦 克伸

48本 完売! 椿油販売促進



2月22日(水)「道の駅むなかた」にて、地島の椿油の販売促進活動を行いました。この活動は1年前の学習から始まりました。

令和3年秋、「地島応援隊」の方が地島の椿油を売り出すので小学生にも協力してほしいという依頼がありました。子供たちは喜んで申し出を受け、椿油工場に見学に行き、椿油のことを調べました。そして、椿油のビンに貼るラベルのデザイン、ビンの首に下げるタグの原案をつくりました。その一連の学習の成果は、昨年度の文化祭での劇「椿油よ 永遠に」につながりました。

そして、1年後、令和4年秋、再び地島応援隊の方が学校に来られました。そして、子供たちが考えたデザインのビンにタグがついた製品を見せてくれました。そして、この椿油を売る工夫を子供たちにたずねました。そのとき、子供たちは店頭販売というアイデアを出し、道の駅でやることになりました。その後、店頭販売に向けて、椿油の良さを調べた子供たちは製品に自信をもったのですが、あまり売れていない現実を知り、椿油の良さをもっと多くの人に知ってもらおうと、店頭販売での様々な工夫を考え出しました。

当日、そろいのエプロン・帽子で、販売したり、入り口でチラシを配布したり、プラカードをもって店内をまわったりする子供たちの姿がありました。(椿まつりのチラシも配りました。) そして、なんと90分で椿油48本を完売したのです。

地島文化祭、ご参観ありがとうございました

2月11日(土)地島文化祭を行いました。過去2回はコロナ禍のため、参加者の制限を厳しくしていましたが、今回は保護者、島民のみなさまに参加者を広げ開催しました。子供たちのご家族を始め、多くの島民の方の前で、子供たちは(お家の方々も)堂々と演技し発表しました。



子供たちの振り返り作文を別紙に載せています。ぜひ、お読みください。

3月行事



- 1日(水)ALT 手紙配り
- 2日(木)お別れ遠足：響灘グリーンパーク
※雨天時 子どもの館(黒崎)
- 6日(月)タグラグビー、委員会活動
- 7日(火)職員作業のため15:00下校
- 8日(水)ALT
職員研修のため13:15下校
- 9日(木)ALT
- 10日(金)ブリッジ閉校式【白浜】
- 11日(土)椿まつり【土曜授業】
- 15日(水)ALT
- 16日(木)6年生修了式
- 17日(金)卒業証書授与式 12:30下校
- 22日(水)大掃除
- 23日(木)給食最終日
- 24日(金)修了式・離任式・お別れ式
10:50下校

3月のブリッジ

3月10日(金)白浜
今年度、最後のブリッジです。
閉校式を17時10分より行います。

17日(金)卒業証書授与式

泊区の橋本千紘さんが、6年間の小学生生活終え、卒業します。開式は10時35分、閉式は11時20分の予定です。
島民のみなさまも参加可能です。

24日(金)の離任式

今年度より、宗像市・福津市では学校職員の離任式を3学期修了式後に実施するようになりました。
つきましては、後日、ご案内を配付いたします。



子供たちの振り返りの作文を別紙に載せています。ぜひ、お読みください。

このあとに、文化祭、椿油販売促進会のふりかえり作文を載せています。

文化祭をふり返って

- ・目標に向かってがんばる自分の力
 - ・励まし支え合う友達の力
 - ・応援するお家の人、島の人、なぎさや学校の先生の力
- この3つの力が、素晴らしい文化祭につながりました。

※文中に出てくる「いかやき」は全校話し合いで子供たちが決めた今年度の目標です。

- ①…意見を聞く ②…考える
- ③…やりとげる ④…協力する

文化祭をふりかえって

今日は文化祭がありました。そして、私は、あらためて練習の大切さを感じました。なぜかというと、本番すぐきんちょうしただけで、それにたえて乗りこえることができたからです。練習をもししてないかったら、きんちょうして一回失敗して止まってしまうってだと思います。だけど、毎日毎日練習をしていたので、まちがっても自信をもって最後まで楽しんでやりました。ところができました。だから、やっぱり練習をしたらみんな楽しんで、最後まで乗りこえることができます。だから、これからも練習は大変だけど、がんばって最後までやりとげていきたいです。

原田 千尋



文化祭をふりかえって

ぼくは文化祭で「いかやき」の「や」が一番できたなと思いました。なぜかというと最初は言っていたけど、終わったら「やった。できた。」と言っていたからです。

林田 観己

ぼくはけん玉が一番きんちょうしたけど、「大じょうぶ。」と思ったら自信がついて、一回目でできました。みんなも「やりとげる。」と「うん。」が一番できていたかなと思います。お母さんとお父さんのダンスもおもしろかったです。おかしがふってきたとき、頭に当たっていたかったです。

ぼくは、地島に来て文化祭が一番思い出になったと思います。お母さんたちは「みんなが一生けん命練習した成果が出ていてすばしかったです。」と言っています。みんなのおかげで楽しい文化祭になりました。

ぶんかさいをふりかえって

じじま ゆうせい

ぼくは、れんしゅうのときにぐにがんばったことは、ハンドベルです。むずかしかったところは、リズムにあわせていれるところなんです。さいしょをゆっくりすると、だんだんできるようになります。

本ばんではすこしまちがえたけど、リズムにあわせてきたのでうれしいです。らい年は、まちがえないようにがんばります。

文化祭をふりかえって

今本 湊

今日、文化祭がありました。今までたくさん練習してきた「三線の花」と「竹富島」を演奏しました。最後まで自信をもって発表できてよかったです。次に「ソーラン節」をおどりました。「ソーラン節」は四月からたくさん練習してきました。最後まで力強くおどれたからよかったです。次に四年生の個人発表がみんなとてもすごかったです。次に劇をしました。役になり切るのがむずかしかったけど、最後まで自信をもって発表できました。次に五年生の個人発表がありました。一番きんちょうして失敗するところもあったけど、最後まで自信をもってできました。文化祭きんちょうしたけど楽しかったです。

ぼくは文化祭が終わった後に、お母さんとお父さんから「がんばったねー。」や「すごかった。」と言われてとてもうれしかったです。

ぼくは、特に「いかやき」の「やりとげよう」が達成できました。なわとびで失敗するところもあったけど、最後までやり切りました。



文化祭をふりかえって

岡田 じはる

今日は文化祭をしました。練習の時、げきのセリフ覚えられるかなとても不安でした。なぜなら、みんなとやっていて間違えたら次の人が「あれ？」と思ってしまって、どこの場面をやっているかわからなくなってしまふからです。そして、なぎさでも練習してもうまくいかず落ち込んでいた時、友達が「いつもの感じで話したらいいんだよ。だって、いつもの生活をげきにするんだから。」と言っていて、私は自信をもつことができました。

そして、本番では「いかやき」の全部が達成できました。地島生活も残り一か月しかなくて、行事が少ないけど、これからも「いかやき」を大切にしたいです。

ミニ文化祭をふりかえって

橋本 千紘

今日はミニ文化祭がありました。私がコロンで文化祭を休んだので、こはるちゃんとはなちゃんがきかくしてくれました。

まず、個人発表をしました。私は体操をしました。きちんとできるか不安だったけれど、とう立で上手に止まったり、片手側転ができた、ハンドスプリングができたので、とてもうれしかったです。

劇は練習は十分ではなかったけれど、なんとか最後までできましたし、おもしろい劇ができたのでよかったです。ほとんどセリフをつまらずに言うことができました。

けん玉は個人発表の時に一回目と二回目に失敗してしまったけれど、三回目になると成功することができました。

本番みたいには、たくさん人がいなかったけれど、みんなといっしょにけん玉、合奏とかができて最後に後悔が残らなくてよかったです。



文化祭をふりかえって

浦川 芭葉

今日の文化祭で分かったことがありました。それは「やればできる」ということです。

私は最初、三線で演奏する「三線の花」という曲が全然できませんでしたが、でも、たくさん何時間も練習したらできるようになりました。これは友達や先生が教えてくれたからです。みんなで決めた一年間の目標の中にある「協力しよう」「やりとげよう」という二つの目標を達成することができました。お母さんや島の人「上手だね。」たくさん練習したんだね。」と言ってくれたのでやりがいを感じたし、達成感もありました。

元の学校に行ってもできないからといってすくにあきらめず、何度も挑戦して「やればできる」ということを忘れなようにしたいです。

文かさいをふりかえって

吉田 りく

ぼくは、「三線の花」のたいこをがんばりました。ゆうせいさんとリズムがとれたからよかったです。こじんはっぴょうで、「パイレーツオブカリビアン」を木きんでひいてがんばったなと思いました。あと、げきで、ぼくはじょうずにセリフが言えたなと思います。

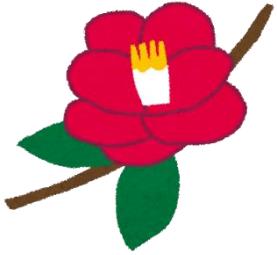
来年の文化さいもがんばりたいです。

椿油販売促進会

椿油販売そく進会をふりかえって

今本 湊

今日は、椿油販売そく進会がありました。椿油販売そく進会は「道の駅」でやるから少しきんちようしました。チラシを配る時もきんちようして少しむずかしかったです。でも、チラシをわたしたとき「ありがとう」と言われるととてもうれしかったです。すると、少しずつ慣れてきて自分からわたせるようになりました。次に椿油を売りました。お客さんが椿油を買ってもらえると、大きな声で「ありがとう」と言います。」が言えました。今日は、椿油四十八本全部売れたからうれしかったです。初めは全部売れるか心配だったから、とてもびっくりしました。



椿油販売促進会をふりかえって

岡田 こはる

今日は、椿油販売促進会をやりました。最初は四十八本あって本当に全部売れるか心配でした。なぜなら、最初はお客さんはあまり椿油にきょうみをもっていなかったからです。でも、後からお客さんがふえてきて、お客さんの方から「チラシください。」とお願いしてくれました。また、「えらいね。がんばってね。」などいよ言葉をかけてくださって、いつのまにか最初のきんちようしていた顔が笑顔になりました。お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんも来てくれて「全部売れるよつにがんばりいよ。」とお願いしてくれて自信をもった。大きな声で喜んでる事ができました。なので、四十八本、全部売ることができました。これからもこういう機会があったら、自信をもってやるようにしたいです。

つばき油はん売会をふりかえって

吉田 りく

ほくは、つばき油はん売会で、おきやくさんにパンフレットをわたしたり、おきやくさんに地島のつばき油を売ったりすることができました。あと、みんなで四十八本売ってうれしかったです。来年は、つばき油はん売そくしん会でつばき油六十本売りたいです。

椿油はん売そく進会をふりかえって

林田 観己

今日は、椿油はん売そく進会がありました。ほくは、「いかやき」の「協力しよう」がよくできたなと思います。今までたくさん準備をしてきました。かん板やチラシ等は、協力してすくいものになりました。そして、椿油四十八本を全部売ることができました。それはみんなで協力して作ったかん板やチラシがお客さんを引きよせてくれたからだと思います。他にも協力してお客様に声をかけたのもお客様を引きつけられたことの一つになったと思います。これから椿まつりがあるから協力して島の外の人たちに地島の良さを知らせてもらえるようにがんばりたいです。今日はつばき油が全部売れてうれしかったです。

つばき油はんばいかいをふりかえって

じま ゆうせい

きょうは、みちのえきむなかに、つばき油をつりにきました。はじめは、おみせに立ってはんばいをしていました。ほくがお店に立っているときに、二十一本もつれました。うれしくて、うれしくて元気に「ありがとう」といいます。「うれしいです。」きょう一日で、たくさんの人に、じのしまのよさをしてもらえてよかったです。らい年もせむぶつりたいです。



椿油販売促進会をふりかえって

原田 千尋

今日は、椿油販売促進会がありました。自分の最初の目標は「元気によびこみをして、今までで一番、椿油が売れた日にしたい」という目標でした。本番では、最初はきんちようして大きな声でよびこみができなかったけど、どんだんお客さんに買ってもらったり、「がんばってね。」と声掛けをしてもらえたりして、大きな声が出てきました。そして、ふり返りの時に、今まで一番売れたか市役所の方に聞いてみると「はい。」と喜んでくれたので、うれしかったです。今度の椿まつりでも、椿油を販売することをして生かしてがんばりたいです。

椿油販売促進会をふりかえって

橋本 千紘

今日は、道の駅で椿油を売りました。九時四十分から十時半まではなちゃん、ちひろちゃんと、ゆうせいさんと、いっしょに売りました。思っていた以上にたくさんの方が見てくれたり買ってくれたりしてくれました。チラシを渡すと、読んでくれる人がいたり、椿油について質問してくれる人がいたりしました。

販売の時間が終わったら、次にお客さんにせん伝をしました。チラシを配ったり、声をかけたりしていると、地島を知っている人に会うこともありました。「地島は椿がきれいだったね。」これからもがんばってね。」と話しかけてくれる人もいました。

椿油販売促進会をして、たくさんの人に椿油について詳しく知ってもらえて、とてもうれしかったです。これからも、たくさんの方に椿油のことを知ってもらって興味をもってもらいたいです。

椿油販売促進会をふりかえって

浦川 芭葉

私は、椿油販売促進会を通して学んだことがあります。それは地島の良さをお客さんに伝えることの良さです。

私は椿油を売る時、初めははさくして、あまりお客さんに声をかけられませんでした。横にいるみんなが「ご飯やかみの毛にも使えます。」と使ってみてください。「元気な声でいいです。」私も勇気を出して目の前にお客さんに「椿油、手にぬってみますか。」とお願い。お客さんが「ありがとう。」と手ぬって椿油を買ってくれました。私はその後、地島の良さも伝えました。すると「今度、行ってみるね」と言ってくれました。私はとてもうれしかったです。私は、椿油を売ったことで、地島の良さを伝えて、お客さんとコミュニケーションをとることができました。このような体験を生かして、もっと積極的にコミュニケーションをとれるようになりたいです。

子供たちの達成感は、椿油を完売することができたからだけではありません。知らない人に話しかける緊張感を乗り越え、相手とコミュニケーションをとることができたことへの達成感でもあります。

この椿油販売促進会は、子供たちの中に大きな自信と、人とふれあう心地よさを育む活動でもありました。